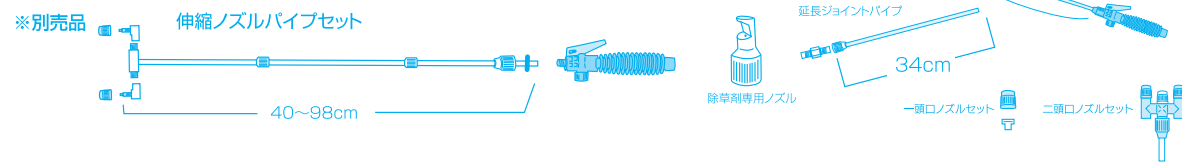
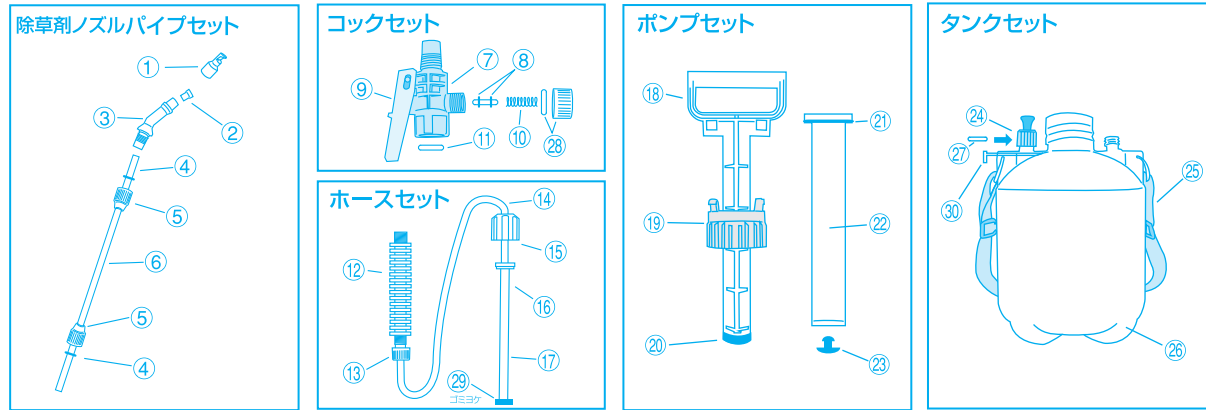


分解図



パーツリスト

セット	No.	部品名	セット	No.	部品名	セット	No.	部品名	セット	No.	部品名	
除草剤ノズルパイプセット	1	除草剤ノズル	ホースセット	12	グリップ	タンクセット	23	ポンプ弁PK	パイプホルダー	4	パイプOリング	
	2	ノズル駒(虫)		13	グリップホース用キャップ		24	安全弁		20	ワン型パッキン	
	3	ジョイント(No.3)(一頭口用)		14	ホース		25	バンド		21	ポンプOリング	
	4	パイプOリング		15	ホースキャップ		26	タンク		23	ポンプ弁PK	
	5	アジャストナット		16	タンク・給水接続PK		27	安全弁パッキン		伸縮ノズルパイプセット		
	6	ノズルパイプ		17	給水ホース		30	パイプホルダー		除草剤専用ノズル		
コックセット	7	コック	ポンプセット	29	ゴミヨケ	延長ジョイントパイプ						
	8	コック弁Oリング		18	ポンプハンドル	一頭口ノズルセット						
	9	レバー		19	ポンプキャップ	二頭口ノズルセット						
	10	コックスプリング		20	ワン型PK							
	11	コックOリング		21	ポンプOリング							
	28	コックキャップ(PK付)		22	ポンプシリンダー							
	(別売品)											

故障と修理

内容	原因	処置
●ポンプハンドルの動きが悪い	▼ワン型PK⑩の油切れ	▲ワン型PK⑩にマシンオイルか機械油を少量塗布する。
●シリンダー⑫の液漏れ	▼ポンプ弁PK⑭にキズか劣化	▲ポンプ弁PKを新品に交換する
●圧力がかからない	▼ネジ部より空気が漏れる ▼⑪⑫⑬のPKの劣化 ▼逆止弁のゴミ詰まり、または劣化、老化	▲各ネジ部を締めつける ▲新品と交換する ▲掃除する
●噴霧の出が悪い	▼加圧不足 ▼ネジ部より空気が漏れる ▼①②③のゴミ詰まり	▲加圧する ▲各ネジ部を締めつける ▲掃除する
●液が止まらない	▼レバーコックのゴミ詰まり ▼レバーコックのパッキンの劣化、老化	▲掃除する ▲レバーコックを交換する
●安全弁の動きが悪い	▼ゴミ詰まり等	▲安全弁⑮を交換する
●コック⑦のレバーの戻りが悪い	▼潤滑剤(マシン油など)を⑧につけてください。	

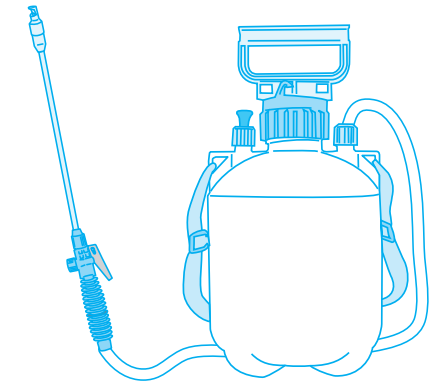


蓄圧式噴霧器(除草剤専用)

グリーンリーブス GL-4H 取扱説明書

この度はお買い上げいただき、誠に有難うございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、故障や事故を未然に防止し、又永くお使いいただけるよう正しくご使用ください。

この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に大切に保管してください。



安全上のご注意

- 危険** : この表示を守らなかった場合、人が死亡、又は重症を負う可能性が高い操作手順と状況。
- 警告** : この表示を守らなかった場合、人が死亡、又は重症を負う可能性が高い操作手順と状況。
- 注意** : この表示を守らなかった場合、人が、けがや火傷を負う可能性が高くなり、本器の故障の原因にもなります。

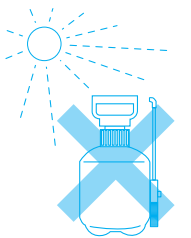
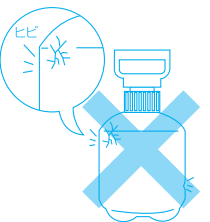
いずれも安全に関する項目です。厳守してください。

使用上のご注意

- 危険**
 - ・タンクは通常のご使用で、3年をめどに交換してください。
 - ・使用年数に関わらず、使用環境や使用頻度、薬品の希釈条件や使用後の保管不備は、本品の劣化を早め、タンクに右図のようにクモの巣状の細かい亀裂が生じたり、変色や異常が出たらタンクの寿命です。ただちに交換してください。
 - ・直射日光に当たる場所に長く置くと、本器の材質が劣化し破裂する恐れがあります。
 - ・タンク部にキズをつけたり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないください。
 - ・火や高熱のそばに置かないでください。又、お湯を入れないでください。
 - ・本器は園芸専用噴霧器につき、この目的以外には使用しないでください。又、噴霧器指定の薬品以外や、酸性、アルカリ性の液体、塗料、ベンジン、ガソリン、シンナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。破裂する恐れがあります。
 - ・種類の違う薬品が混合されると、危険ですでおやめください。
 - ・目的除草以外の植物に散布しないようご注意ください(枯らしてしまう恐れがあります)(上記項目を守らないと、破裂や、思わぬ事故をまねく恐れがあります)

- 警告**
 - ・ご使用する薬品は規定通りに薄めてください。高濃度の薬品は植物をいため、又本器の性能も損ない、思わぬ事故の原因となります。使用前に、各部のネジ部にゆるみがないか、確認してください。
 - ・作業する場合、薬品の付着や吸入を防ぐため、露出部の少ない保護衣を着用してください。
 - ・作業が終了しましたら、ただちに本器の圧力を安全弁より開放してください。
 - ・噴霧器を持ち運ぶ際は、必ずハンドルとポンプがロックされているか、確認してください。

- 注意**
 - ・本器を改造したり、本書に説明のない分解や修理はしないでください。
 - ・薬品は、種類を限定してご使用ください。
 - ・本器の寿命を永く保つため、又パーツの損傷を防ぐため、使用後は必ず真水で1~2分噴霧して、薬液を洗い流してください。



お問い合わせ

修理についてのご相談や部品のご注文は、お買上の販売店、または下記までご依頼下さい。

マルハチ産業株式会社

東京都港区芝4丁目12番2号
TEL 03-5443-8611 FAX 03-5443-8614
Webサイト: <http://www.maruhachi08.co.jp/>

202001

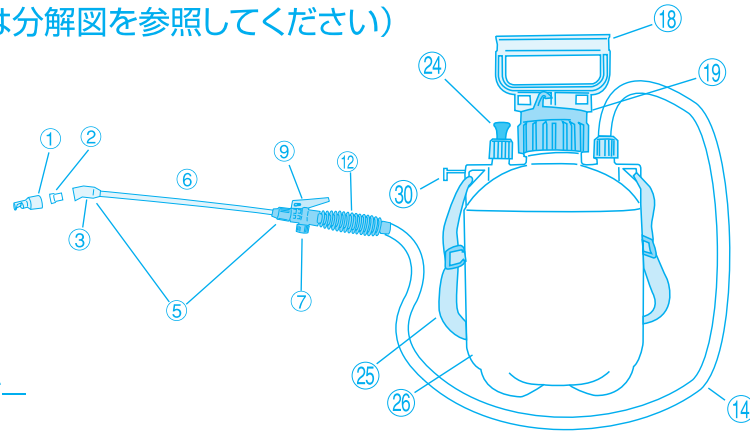
※仕様は予告なく変更することがあります。

各部の名称

- ① 除草剤ノズル
- ② ノズル駒(虫)
- ③ ジョイント(No.3)
- ⑤ アジャストナット
- ⑥ ノズルパイプ
- ⑦ コック
- ⑨ レバー
- ⑫ グリップ
- ⑭ ホース
- ⑱ ポンプハンドル
- ⑲ ポンプキャップ

(詳細は分解図を参照してください)

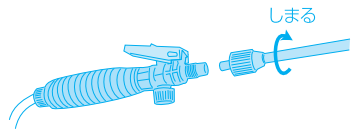
- ⑭ 安全弁
- ⑮ バンド
- ⑯ タンク
- ⑰ パイプホルダー



使用方法

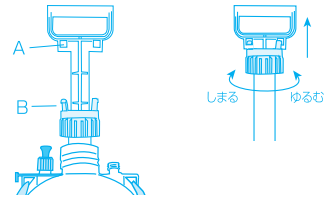
1 ノズルを組み立てる

- ノズルパイプを取り付ける
- 各部のナットはしっかり締めてください。



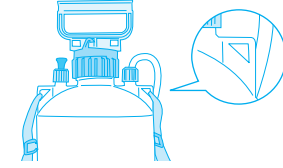
<ポンプセットをタンクから外す場合>

- ハンドルAをつめBから外して、そのままハンドルAを上から押し付けながら左へ回してください。



<ストラップの取り付け方>

- ストラップを三角の穴に直接通して留めてください。



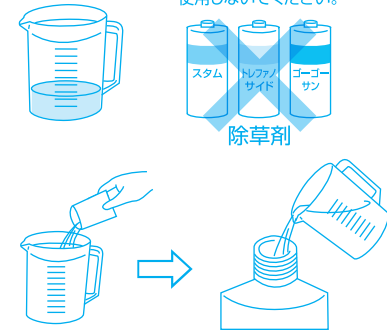
2 タンクに除草剤を希釈する場合

- ⚠ **注意** 先にタンクに水を5ℓ入れてください。
- 水を入れたあとに、下記目安表を参考に希釈してください。



下記の除草剤はタンクの破損やパーツの変型による故障の原因になりますので、使用しないでください。

濃度に注意



例) 溶かす薬剤の目安表(各社商品基準に従ってください)

倍率	水5ℓ	水10ℓ	水20ℓ	水50ℓ	水100ℓ
100倍	50ml	100ml	200ml	500ml	1ℓ
50倍	100ml	200ml	400ml	1ℓ	2ℓ
25倍	200ml	400ml	800ml	2ℓ	4ℓ

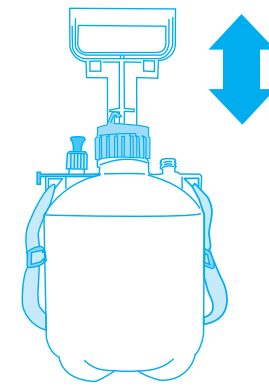
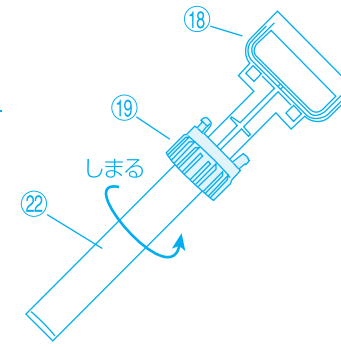
- ⚠ **注意** タンクの上限の目盛り以上薬液を入れないでください。
- 容器の目盛りは多少の誤差がありますので、目安にしてください。

3 ポンプセットをタンクに取り付ける

- ポンプキャップを持ち、シリンダーが動かなくなるまで締めた後、タンクに取り付ける。
- 両手でハンドルを握り、上下させて加圧する。
- 加圧は一定の硬さになったら止めてください。
- 加圧後はハンドルをロックしてください。持ち運びに便利です。
- 安全弁から「シュー」という音がしたら加圧を中止してください。

ポンプセット

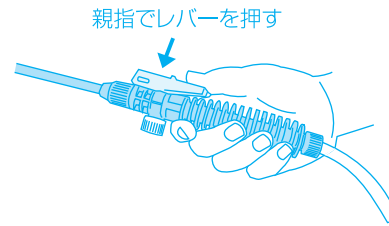
- ⑱ ポンプハンドル
- ⑲ ポンプキャップ
- ⑳ ポンプシリンダー



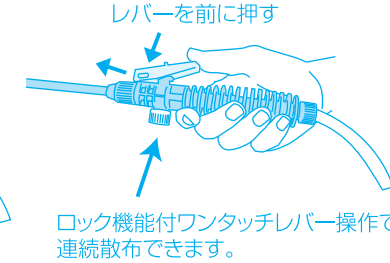
- ⚠ **注意** ● 加圧するときは、レバーがロックされていないか確認してください。
- もし、ロックされた状態で使用しますと、液体が不用意にノズルから飛散することになります。

4 散布する (使用前には必ず各ジョイント部分のナットをしっかり締め付けてください)

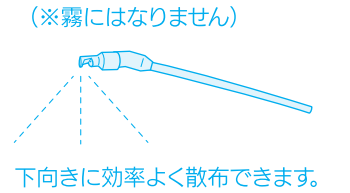
断続散布



連続散布



除草剤ノズルの特徴



- ⚠ **注意** ● 散布の際は薬液が対象物以外にかからない様、風向きや周囲の状況に十分注意してください。
- 霧の勢いが弱くなれば再び加圧してください。
- 出方が不調の場合は、除草剤ノズルをはずして付着しているゴミを洗い流してください。

5 使用後はタンクの圧力をめく

- 作業が終わればタンクを立てた状態で「シュー」という音がなくなるまで安全弁押さえを引き、タンク内の圧力を逃がしてください。

- ⚠ **警告** 破裂する恐れがありますので、加圧した状態のまま放置しないでください。

- ⚠ **警告** けがをする危険があるのでポンプキャップ等はずす際は、必ず先にタンク内の圧力を抜いてください。

- 使用後はタンク内の薬液を抜き、十分に洗い流してください。
- 薬液が残っていると本器の性能を損ない、思わぬ事故の原因となります。また、他の薬品と誤って混同すると危険です。

- 保管時は必ずタンク内の圧力を逃がし、直射日光を避けて保管してください。
- 直射日光の当たる場所へ長時間放置しておいたり、圧力のかかったままにしておきますとタンクが劣化し、破裂する恐れがあります。

